

市指定

所在地：上板井

しゃかじゅうろくぜんじんず

釈迦十六善神図

弘誓寺に残る絹本の十六善神図で、釈迦三尊を中心に描き、その前面の右側に文殊菩薩、左側に維摩居士^{ゆいまこじ}を侍立させ、周囲に十六善神、下方に玄奘、深沙大将が描かれている。十六善神は甲冑に身を固め、手には剣や鉾をもち、憤怒の形相で釈迦を守護している。

釈迦十六善神図とは、大般若経が中国に伝来した由来を描いたもので、唐代に成立し日本では鎌倉時代末期以降に流布し、鎮護国家、除災招福を祈る大般若会の際に本尊として掛けられた。当図は、細部の表現が繊細で、南北朝時代に比定される。

縦108cm、横53cm。

